

論壇

海外網強化で成功

コンパクト・アンド・ネットワークというこの重要性について、前回のこの欄で書いた。地方都市が繁栄するためには、街をコンパクトにすることが有効だ。都市の機能が分散せず一つのところに集まった方が、都市の機能が高まる。つまり住みやすい街になるし、産業活動にも適している。人口減少社会では、コンパクトシティを抜きに地域の活性化は考えられない。

地域活性化のもう一つのポイント

伊藤 元重 (国際経済学) 学習院大教授

トがネットワークだ。他の地域といろいろな形でつながりを持たないといふとだめだ。孤立しては、地域の繁栄は実現しない。人、物、情報などの流れを活発にすることが必要だ。

このコンパクト・アンド・ネット

300万人程度の都市国家であるが、シンガポール経済の躍進には

シンガポールに学ぶ都市経営

トワークで成功している代表的な都市がシンガポールである。1965年にマレーシアから独立した時には、貧しい都市国家にすぎなかった。いまや、1人当たりの所得では日本をはるかに超えて、アジアで最高水準である。シンガポールの博物館には、独立当時のリ

だ。

シンガポールの成功の最大の秘訣は、徹底したグローバルネットワークの構築だ。人、物、金などで海外とのネットワークを徹底して強化することで、物流、人材、金融のハブが構築された。外からの人材や資金を取り入れることがいかに重要か。シンガポールの成功例はそれを明らかにしている。レベル感はずいぶん違うが、地域経済の活性化でも同じことが言える。

公共サービスに集中

都市経営という意味でもシンガポールから学ぶ点が多い。厳しい資源制約の中でも、シンガポールは三つの分野を重視してきたと言われる。住宅、医療、教育だ。この三つの質を確保できれば、後のことは政府に多くを頼らなくても住民の生活の質は維持できる。何でも政府が手助けするのではなく、民間に多くを任せることも重要だ。

公共サービスを重点分野に集中させたことが、結果的に都市経営での成功につながっている。こうしたサービスを効率的に提供するために、コンパクトな都市設計が必要となる。コンパクトシティとは、外見的な都市の姿だけではなく、その中の行政サービスのあるべき姿をも含んだものである。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。